

真の教育とは

鶴岡から日本の教育改革を

②

「勝負」しないと
必ず負ける時代

高度経済成長期は、
人口が増加し続けてい
たので、毎日同じ商売



をまじめにやっていたれ
ば売り上げが伸びた時
代でした。そしてみん
なが追い風に乗って生
きていました。勉強し
て良い学校に入り、良
い会社に入れば、人生
追い風でいける。まじ
めに働いて、努力をす
れば必ず報われると教
育されてきました。し

かし今は、人口減少の
時代ですから、毎日同
じ商売をまじめにやっ
ているだけでは、売り
上げが下がってしまう
のです。まじめに働い
て努力をすることは成
功のための必要条件で
あっても、十分条件で
はありません。時折、
勝負をしないと必ずじ
わじわと負ける時代な
のです。勝負は勝つ時
もあれば負ける時もある。
でも勝負しなければ

ることだと思えます。
最近の多くの若者は
自己保身、安定志向が
強く、つぶれそうにな
い安定した企業に入っ
て、定年まで養っても
らおうとしています。
そして、これは若者に
限ったことではありません
せんが、多くの国民が

る。監督(総理大臣)を
替えてしまおう。選手
一人一人は自分の次の契
約のことしか考えない。
そんなチームは勝てる
はずがありません。
チームが勝つために
は、選手一人一人が自
分の能力、適性を最大
限に発揮していかにか

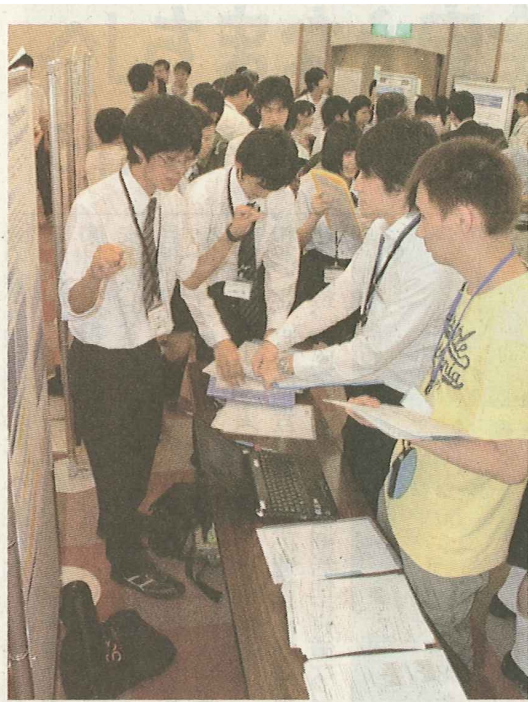
せん。そのためには自
分が一体、何が得意な
のかを考えることが第
一步です。得意なこと
は大抵、好きなことで
すから、好きなことを
自由研究や自由課題、
自由プロジェクトとい
う形でどんどんやって
みるのが非常に重要
です。

「1点でも多く」
不毛な高校教育
なのに現実には、多く
の高校で全員に同じ勉
強をさせて筆記試験で
1点でも多く取った人
が勝ち、という、私に
言わせれば極めて不毛
な競争をさせています。
そしてせっかくな自分
の得意なこと、好きな
ことを見つけた生徒が
いたとしても、特に進
学校では大学入試が近
づいてくると「そろそ
ろ5教科7科目をちゃ
んと勉強しなさい」と
指導します。これでは

教育どころか、一部の
生徒にとってはむしろ
育成の邪魔になってし
まうと思えます。
多くの大人たちは、
「まずは基礎学力をつ
けろ」と言います。基
礎学力とはスポーツで
言えば「基礎体力」の
ことで、研究プロジェ
クトはスポーツで言え
ば「試合」です。確か
に試合に勝つためには
基礎体力が重要です。
でも基礎体力だけ鍛え
ても決して試合に勝つ
ことはできません。大
学4年になって初めて
試合(研究・ゼミ)を
始めるようでは、遅い。
ワールドカップの選手
は、中学、小学校ぐら
いから国際試合にどん
どん出て自分を鍛えて
いく。そういうことを
日本も一部の生徒にや
らせないと海外で勝負
して勝てる日本代表選
手は育ちません。

提言 富田 勝氏(慶應義塾大学 先端生命科学研究所所長) 講演から

得意分野伸ばす教育を



ば必ず負けるのです。
これは国レベルでも、
地方自治体レベルでも、
企業でも個人でも言え
る。監督(総理大臣)を
替えてしまおう。選手
一人一人は自分の次の契
約のことしか考えない。
そんなチームは勝てる
はずがありません。
チームが勝つために
は、選手一人一人が自
分の能力、適性を最大
限に発揮していかにか

他方本願になってしま
っており、総理大臣に
望むことの第一位が景
気を回復してほしい」
だったります。でも
景気を良くするのは結
局国民一人一人なので
す。試合に勝てないの
は、監督の采配もあり
ますが、結局は選手一
人一人の責任です。国
が勝てなくなっている
ことを監督(政治)の
せいにする。そしてす
ていかなければなりま

ームに貢献するかを考
えることが重要なのに、
今の日本の教育はほと
んどこれをやっている
せん。高校と大学の前
半は、教科書の勉強は
かりをやらされます。
教科書の勉強も必要で
すが、あまりにも大き
なウェイトを置き過ぎ
です。試合に勝つため
には選手一人一人がい
るん力を試し、磨い
ていかなければなりま

せん。そのためには自
分が一体、何が得意な
のかを考えることが第
一步です。得意なこと
は大抵、好きなことで
すから、好きなことを
自由研究や自由課題、
自由プロジェクトとい
う形でどんどんやって
みるのが非常に重要
です。

「まずは基礎学力をつ
けろ」と言います。基
礎学力とはスポーツで
言えば「基礎体力」の
ことで、研究プロジェ
クトはスポーツで言え
ば「試合」です。確か
に試合に勝つためには
基礎体力が重要です。
でも基礎体力だけ鍛え
ても決して試合に勝つ
ことはできません。大
学4年になって初めて
試合(研究・ゼミ)を
始めるようでは、遅い。
ワールドカップの選手
は、中学、小学校ぐら
いから国際試合にどん
どん出て自分を鍛えて
いく。そういうことを
日本も一部の生徒にや
らせないと海外で勝負
して勝てる日本代表選
手は育ちません。

(つづく)